

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	保健課	事業No.	141
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	新規
		開始	R2	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		6	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす	
	分野別計画		飯田市版総合戦略		
			データヘルス計画		
		地域健康ケア計画			
法令・例規等		医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律			
		高齢者の医療の確保に関する法律			
		高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第2版			
事業目的	対象	後期高齢者			
	意図	フレイル予防と生活習慣病重症化予防をおこなうことにより、健康寿命の延伸につなげる			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	1 KDBシステムを活用し、医療レセプト・健診・介護レセプトのデータ等の分析を行い、地域の健康課題の把握・分析と保健指導対象者の抽出を行いました。		会計年度任用職員人件費				131				
	2 生活習慣病重症化予防のため、健診結果から対象者への訪問等による保健指導を行いました。		消耗品費				73				
	3 医療や介護サービスにつながっておらず健康状態が不明な者に対して、訪問等により健診への受診勧奨と健康状態の把握・相談・支援を行いました。		燃料費				3				
	4 通いの場(いきいき教室等)を通して、栄養士・歯科衛生士によるフレイル予防の普及啓発や、健康相談・健康教育を実施しました。		通信運搬費				125				
			その他の経費				0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	健康状態が不明な者に対する支援(R2)	回							140	104	
	フレイル予防の栄養・口腔指導	会場							60	50	
2年度決算(千円)	予算額	1,259	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	332	(そ) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業受託金								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	167								
	一般財源	165									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	3	1	3	1,026	131	会計年度任用職員人件費
2	1	4	1	3	11	10	233	201	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		通いの場参加者へのアンケートの結果、口腔機能の低下が疑われる方が3割見られました。教室において歯科衛生士の指導後、口腔ケアを1ヵ月実施した方の約3割で口腔機能の改善が見られました。KDB等による医療費分析や、健診結果から、後期高齢者には高血圧の方が多くわかりました。							
上記の課題解決のための有効策		通いの場での口腔機能の低下(オーラルフレイル)予防の教室の拡大を図っていく必要があります。高血圧予防について対策の必要があります。							
次年度に向けての取り組み		いきいき教室に加え、通所型サービスB事業へも歯科衛生士による口腔機能の低下予防の指導を実施します。今年度後期高齢者健診の結果、高血圧を疑われる方を対象に教室を開催します。							